

令和7年度 地域連携推進会議

2026/3/25 (水)

(1) 地域推進会議の目的

- ・利用者と地域との関係づくり
- ・地域の人への施設等や利用者に関する理解の促進
- ・サービスの透明性・質の確保
- ・利用者の権利擁護
- ・会議の開催による構成員との情報共有・意見交換
- ・構成員の施設訪問による職員や利用者との関係づくり
- ・事業所の環境や事業運営の確認を行います。
- ・利用者にとって、より質の高い支援が受けられる効果があります。

(2) 出席者のご紹介

- ・O.S.様 (利用者)
- ・M.Y.様 (利用者)
- ・O.S.様 (利用者御家族)
- ・自治会長 (地域代表者)
- ・横山幸子 (管理者)

(3) グループホームの取り組みの説明

① 障害者支援施設と共同生活援助の違いについて

共同生活援助（グループホーム）は障がいのある方が地域社会の中で、世話人などの支援を受けながら、数人の仲間と一軒家やマンションで共同生活を送る福祉サービスです。

- ・生活形態：共同生活援助は地域の住居での自立支援、障害者支援施設は入所型施設での包括的支援。
- ・対象者の重度度：共同生活援助は比較的軽度～中度の障害者向け、支援施設は重度障害者向け。
- ・支援内容：共同生活援助は日常生活のサポート中心、支援施設は24時間体制で生活全般を包括的に支援。
- ・目的：共同生活援助は地域社会での自立生活促進、支援施設は生活の安定と身体・生活能力の向上。

② レホナ明石大久保Ⅰ号館について

- ・対象者
精神障がい者・知的障がい者
- ・住居定員

レホナ明石大久保Ⅰ号館4名、レホナ明石西二見6名、レホナ明石大久保Ⅱ・号館6名、レホナ明石魚住5名、レホナ神戸西4名、レホナ明石高丘6名、レホナ神戸玉津7名、レホナ明石東二見6名

・職員

管理者1名、サービス管理責任者1名、生活支援員・世話人30人以上（16時～21時／6時～8時）、夜間支援員（21時～6時）

・特長

レホナは一般住宅を利用した小規模施設で自宅に住むイメージを大切にしています。

サービス管理責任者が「生活上の目標」や「将来の夢」をご本人と話し合い、お一人おひとりに“個別支援計画”というプランを立てます。その目標の実現に向けて、スタッフがともにサポートしていきます。

・食事提供

朝食、夕食を毎日手作りで、出来立ての温かいご飯を食べていただきます。

栄養士が毎月、献立とレシビをしっかりと管理しています。日祝には、利用者様のリクエストにお応えしたメニューが登場することもあります。ご利用者様と一緒に調理を行う事もあります。

・居室管理

プライバシーを大切にしています。

部屋のお掃除はご自身で行ってまいります。月に一度は世話人がお手伝いします。

一人で過ごす時間の楽しみや学びの為にインターネットのWi-Fiを無料で利用できます。

・お仕事サポート

自分の力でお金を得ることは何よりの自信に。その第一歩を踏み出すお手伝いをします。就労先と連絡を取り合い、安心して通えるようにお手伝い致します。

・季節のイベント

お花見に花火、ハロウィンやクリスマス、毎月何かのイベントがあり、楽しまれています。

誕生日にはケーキで、皆さんと一緒に祝い致します。地域祭りへの参加・見学も。

※別紙写真にて説明

（４）皆様からの感想・意見交換

・O.S.様

最初、グループホームは高齢者が入る所だと思っていて、入居を反対していた。しかし、今はグループホームレホナをよく理解できて、入居したことに感謝している。また、自宅外泊の時は猫の写真を沢山見せてくれて、「もう猫と離れられない」と言っている。

以上

情報更新日：2026年3月31日